

事業番号	121
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	高齢者能力活用推進事業						担当部	健康福祉部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	地域福祉課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	長寿福祉係							
	総合計画 分野別計画	主目的	2 保健・福祉		8 高齢者福祉		1 高齢者の社会参加と生きがいを支援します									
		副目的														
	予算区分	款	3		項	2		目	1		大	4		中	1	
	根拠法令・個別計画	高齢者能力活用推進事業費補助金交付要綱														
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	定年退職後等において、高齢者が臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係わる就業を通じて、社会参加を希望する高齢者の就業機会の増大を図る。														
	内容 (手段)	<p>シルバー人材センターにおいて、60歳以上の就業希望の方をシルバー人材センターの会員として登録し、同センターが就業機会として確保した仕事をその会員に対して斡旋、若しくは派遣を行った。 (社)小牧市シルバー人材センターに対して、高齢者能力活用推進事業費補助金(26,000千円)を運営費等として助成した。 シルバー人材センター年会費(1人当たり)1,000円/年</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 全国シルバー人材センター協会負担金 50千円、高齢者能力活用推進補事業助金 26,000千円</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 全国シルバー人材センター協会負担金 50千円、高齢者能力活用推進補事業助金 32,000千円</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額	
			直接経費	千円	32,050	26,050	26,050
費用	正職員	従事者数	人	0.05	0.05	0.05	0.05
		人件費	千円	263	263	263	263
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	32,313	26,313	26,313	32,313	
	対前年比	%		81.4	100.0	122.8	
財源	一般財源	千円	32,313	26,313	26,313	32,313	
	国・県支出金	千円	0	0	0	0	
	その他財源	千円	0	0	0	0	

業 績	活動指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	シルバー人材センター会員数	人	目標	810	697	697	600
			実績	642	625	566	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H23	H24	H25	H26
年間就業延日人数	人	目標	—	—	—	—	
		実績	72,779	65,739	60,919		
就業率	%	目標	100	100	100	90	
		実績	74	81	83		

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	シルバー人材センター会員数及び年間就業延日人数について、目標を下回ったが、就業率は前年度と横ばいであった。		
		事業実施における課題	経済状況が回復し、人手不足により直接雇用の増加、また、再雇用制度により60歳代の会員入会が減少している。		
		事業を縮小・廃止したときの影響	高齢者の雇用の安定等に関する法律によりシルバー人材センターが法制化されており、今後の高齢社会における生きがい対策等に必要性があることから、シルバー人材センターの運営に係る経費を補助するものであり、補助を無くせば、社会参加を希望する高齢者の就業機会を失うとともに、運営そのものに支障をきたすこととなる。		
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	シルバー人材センターにおいて、高齢者雇用の拡大を行うために、新たな派遣先の開拓を行う。		
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)	
		判定理由	今後の高齢社会において、高齢者の生きがい対策等として必要性があるため。		
		27年度以降の改善案	引き続き、シルバー人材センターにおいて、高齢者雇用の拡大を行うために、新たな派遣先の開拓を行う。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。